

(67) 飛騨国内郡、郷別の村名一覧（第 100 図—1、2）

年代 江戸時代～明治 8 年（1875）

江戸時代から町村制が確立した明治 8 年までの各郡内郷別村名一覧を第 100 図—1、2 に記載した。この一覧表は『斐太後風土記』に所載する新旧地名対照表（註 1）を参考にして集約したものである。それぞれの郡内における「郷」別に、各村を分類した。村名の読み方は現行の一般的な読みをしているが、本来の読みと異なる場合もある。

第 100 図—1 は大野郡と益田郡の各村、第 100 図—2 は吉城郡の各村で、村数は大野郡 136、益田郡 100、吉城郡 179、合計で 415 カ村を数える。

各郷内の村については、『絵図』第 19 図の端書に 3 郡の村数「414 カ村」が記されているが、第 100 図と比べて吉城郡が 178 カ村で、1 村分少ない。東茂住と西茂住が茂住 1 村になっているためである。

『絵図』第 37 図には 3 郡 413 カ村の一覧表を掲載しているが、村数は 413 カ村と書いてある。しかし、大野郡の合計が 135 カ村とあるが各郷を足すと 136 カ村になり、実際の合計は 414 カ村となる。

註 1 『大日本地誌大系 飛騨後風土記上・下巻』 蘆田伊人編集 長坂一雄発行

昭和 43 年 2 月 10 日

「上巻」の巻末 1～9 頁に大野郡、吉城郡、「下巻」の巻末 1～12 頁に益田郡の「新旧地名対照表」が掲載されている。

〈参考文献〉

- ・「角川日本地名大辞典」編纂委員会 竹内理三編 『角川日本地名大辞典 21 岐阜県』
昭和 55 年 9 月 20 日 株式会社角川書店発行
- ・安田益二編著 『岐阜県下戸長名鑑』 昭和 12 年 水谷善七出版
昭和 50 年
岐阜県郷土資料研究協議会複製発行

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。